

窓明山

M・T

期 日：2020年7月2日（木）（曇りのち雨）

コース：保太橋登山口8：45～8：55→巽沢山10：10→家向山西峰12：05→窓明山
14：44～55→家向山16：19→巽沢山17：06→保太橋登山口17：53

参加者：M・T

報 告：



早朝に横浜を出て登山口に到着。
国道352号の小豆温泉スノーシェッド近くに窓明山登山口は有る。松枝岐方面30m先には、三岩岳への国体コース登山口が有る。スノーシェッドの屋根に登り、そこから三岩岳に登る黒松沢登山口も有るが、ここ数年通行禁止となっている。

登山口の標高766m。

登山開始後すぐに、トラロープの下がる急登となる。



登山道脇には、ツルアリドオシの白い花が目立つ。



倒木更新迄長い月日が必要だろう。

最初のピーク巽沢山 1162m
ここまで標高差 400m近く登る。



家向山への道はブナ林の中。
眺望は無いが、美しい。

ツマトリソウ現れだす。



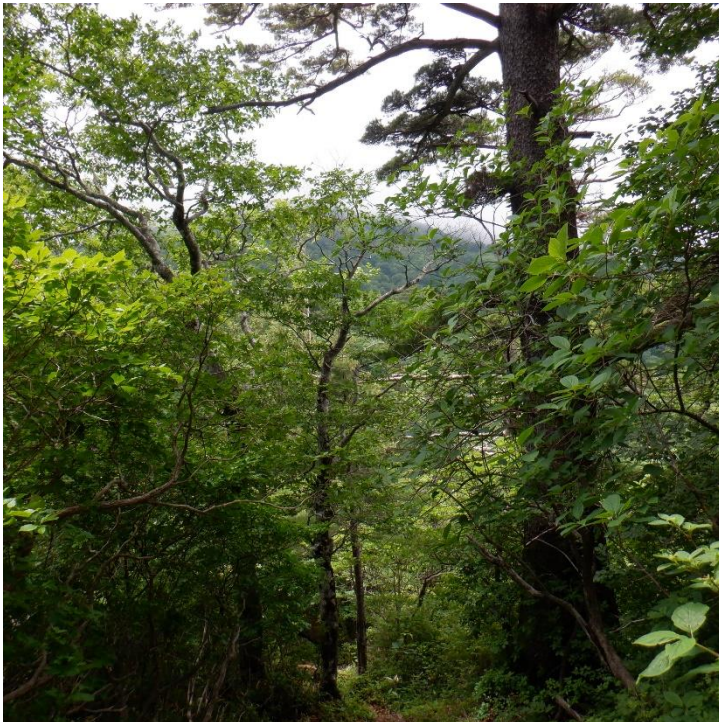


家向山西峰。
地形図で見ると登山道から東に少し行ったところに山名表示が有る。帰宅後調べると、写真は西峰で東峰にはいけない様だ。踏み跡も無くロープが張られていた。

すぐ側に図根三角点。
いきなり距離 650m程急降下標高差では50mほどだが、復路は登り返すのかと嫌になる。下って、更に400m標高を上げると窓明山だ。ゆっくり頑張る。



あれが窓明山か？



ハクサンシャクナゲ





ゴゼンタチバナが群生している

イワナシ



ミツバオウレン群生地

ツツジ



ここまで来ると春の花満載で嬉しい。

残雪有り。空の雲行きが怪しくなる。





あの先が三岩岳への分岐点と思われる。

山頂着。

三岩岳経由で会津朝日岳迄続く長大な尾根なのだが、この日は眺望無。



下山は、あそこを登り返せば、後はそれほどの急登は無い。下山途中で雨が降り出す。暑いが我慢してレインウエア着用。予定通り、無事 17:53 分窓明山登山口着。下山中、スマホのバッテリーが無くなり、巽沢山でヤママップを消した。それ迄の標高差登り 1332m、下りも 1300m 位の山行だった。



昭文社コースタイム 7 時間 30 分の所を 9 時間かかった。昼食以外、ほとんど立ち休みだけだったが、1.2 倍の時間がかかった。

